

釣針のついた漁具（図4の②）をイカジーと称している。

これらとは別にクビラーを短かくして柄をつけた漁具があり、これをワクヤーグーと呼んでいる。漁業者は普通船尾近くの所に坐って潮下側の船側からこれら3種の漁具を垂れ、左手でイカジーとワクヤーグーを持ち、クビラーを右手で握る。そして手応えのあるものから引き上げる。クビラーで誘導され浮き上がってきたイカは手カギ（図4の①）で引っかけて獲る。イカジーの場合はそのままイカを釣り上げることが多い。ワクヤーグーの役目は水面近くのトビイカを誘導することと、イカジーやクビラーとともに浮き上がってきたイカの逸散を防ぎ、引っ掛け易いようにイカを誘うことにある。水中に垂らす深さは、ワクヤーグーが2m、イカジーが10m、クビラーが20m程度という。これらの漁具に付ける餌は、ワクヤーグーとクビラーにはトビイカを丸ごと用い、イカジーには胴体部のみを開いてくくり付けている。

### ⑧ 漁獲物

トビイカ釣り漁業はトビイカのみをねらっているのではなく、マグロ類やカジキ類などの大型魚の漁獲も目的としている。また、漁場に行く途中は引き縄をするので、漁獲物は種々なものとなる。

表11 港川におけるトビイカ釣り漁業の漁獲物

単位：kg、円（昭和51年）

月	漁獲物	漁獲量	割合(%)	漁獲金額	割合(%)	備 考
7月	トビイカ	7978	32.9	325,315	29.5	トビイカのセリが開かれた日数 10日
	マグロ	7577	31.2	455,485	41.3	
	メカジキ	3165	13.0	203,380	18.4	
	サメ	4605	19.0	73,295	6.6	トビイカ釣りに出漁した延人数 82人
	マンビキ	370	1.5	7,900	0.7	
	サワラ	525	2.2	35,575	3.2	
	その他	48	0.2	2,400	0.2	
		計	24,268	100	1,103,350	100
9月	トビイカ	46,646	77.4	1,776,940	70.8	トビイカのセリが開かれた日数 1.6日
	マグロ	7,135	11.8	482,075	19.2	
	メカジキ	1,883	3.1	136,750	5.5	
	サメ	2,960	4.9	37,050	1.5	トビイカ釣りに出漁した延人数 167人
	マンビキ	1,254	2.1	36,737	1.5	
	サワラ	175	0.3	14,570	0.6	
	その他	207	0.3	24,770	1.0	
		計	60,260	100	2,508,892	100

（魚種名はセリ市場の名称による）